



**FUJIBO**

*The Focus on Innovation*

第**205**期

# 中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役社長  
いのうえまさひろ  
**井上雅偉**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第205期上半期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が見られたことによる個人消費の回復やインバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高止まりや継続する物価上昇などにより設備投資や個人消費が下振れする懸念もあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、2021年から2025年の5年間を計画期間とする中期経営計画『増強21-25』の基本戦略である「事業ポートフォリオの改革」と、「各事業の増強」に取り組んでおります。計画4年目となる当期については、事業の柱である研磨材事業は、半導体市場が本格的な需要回復には至っていないものの、好調な先端半導体向け需要等を背景に、増加基調が続きました。化学工業品事業は、電子材料を中心とした市況悪化が底打ちし、緩やかな回復基調となりました。生活衣料事業は、物価高や円安、エネルギー価格の高止まりの影響を受けたことから、取引価格の改定や取引条件の変更を進め、収益性改善に努めました。

この結果、当中間期の連結業績は、売上高は前年同期比3,961百万円(23.2%)増収の21,060百万円となり、営業利益は2,075百万円(226.1%)増益の2,992百万円、経常利益は1,809百万円(143.4%)増益の3,071百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比1,198百万円(133.6%)増益の2,095百万円となりました。

当期の中間配当につきましては、予定通り1株当たり60円とさせていただきます。

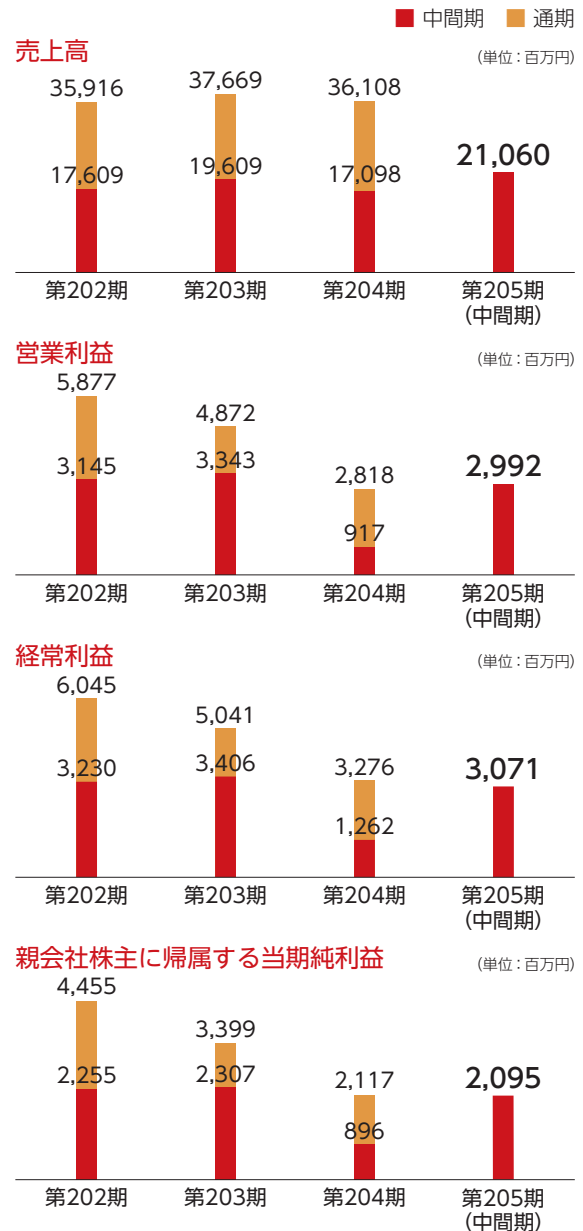
当社は、2021年度から2025年度を計画期間とする中期経営計画『増強21-25』を実行しています。本中期経営計画では、未来のありたい姿から導出した2025年像と現状の延長線上の2025年像とのギャップを特定し、中期的に取り組む

施策を着実に実施します。加えて事業ポートフォリオの積極的な見直しと持続可能で儲かるビジネスへの転換を段階的に図ることにより、“圧倒的なニッチナンバーワン企業”をめざします。計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージ、後半2年を「非連続的成長の実現」ステージと位置づけ、収益機会の増加と提供価値の強化を施策の両輪として、『稼ぐ力』を強化いたします。同時にDX(デジタルトランスフォーメーション)の継続・深化にも取り組み、各事業の成長基盤を連続的・非連続的に「増強」していきます。

主力の研磨材事業では、半導体市場が、世界的に旺盛なAI関連投資を背景に、最先端ロジック向け半導体やメモリの需要が急拡大しています。また、AI関連を除くと、本格的な回復には至っていないものの、PCをはじめとする川下のエレクトロニクス製品市場が上向きつつあります。今後、需要の回復は、川下産業の生産・在庫状況や市場見通しにより、まだら模様となっており、このような市場の変動に対応するため、市場環境、成長にあわせた生産体制の整備を迅速に進めていきます。また、半導体生産の集積地である台湾に研究開発施設の建設を進め、ユーザーからの要望に対応することで、将来の売上拡大につなげます。化学工業品事業では、化学品市況が底を打ち、電子材料を中心に需要が増加するなど回復基調になっています。また、機能性材料の受注拡大に対応するため、柳井・武生両工場の連携強化とともに、2026年の稼働に向けて新プラント建設を着実に進めます。生活衣料事業では、原材料やエネルギー価格の高騰によるコスト負担増が継続するなか、適正な取引条件改善に加え、SNSなどを活用したダイレクトマーケティングにより、Eコマース型ビジネスモデルへの転換を順次進めています。その他の事業では、化成品事業は、医療機器用途向け需要拡大に備えるため、各生産工場間の連携を確立させ、増設した生産設備の安定稼働体制を構築することで、重点3事業に続く第4の柱事業として育成すべく基盤整備を進めています。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月



売上高構成比  
**43.7%**

## 研磨材事業 売上高 9,209百万円 営業利益 2,125百万円

世界の半導体市場は、2023年前半に底打ちした後、2024年前半にかけて緩やかな回復が続いております。そのような状況の中、主力の超精密加工用研磨材において、半導体デバイス用途(CMP)は、生成AIの急速な普及に伴うメモリや最先端ロジック向け半導体の需要増加、増産に伴う一部ユーザーの在庫水準の引き上げにより、受注が増加しました。シリコンウエハー用途は市場の過剰在庫が解消されつつあり、回復基調となりました。ハードディスク用途もデータセンター向け需要が戻りつつある一方、液晶ガラス用途は、足元のパネル市況の低迷が長期化するなか、受注が低調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比3,487百万円増収の9,209百万円となり、営業利益は1,971百万円増益の2,125百万円となりました。



売上高構成比  
**32.4%**

## 化学工業品事業 売上高 6,820百万円 営業利益 595百万円

機能性材料、医薬中間体および農業中間体などの受託製造は、昨年来の中国経済低調の影響が継続しているものの、半導体を含む電子材料市場の緩やかな拡大と在庫調整の一巡により需要が回復傾向となりました。また、新規製品への取り組みが奏功し、工場の稼働は改善しました。

この結果、売上高は前年同期比434百万円増収の6,820百万円となり、営業利益は253百万円増益の595百万円となりました。



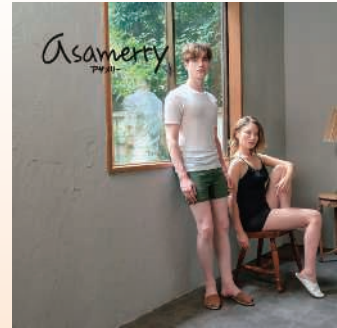
## 生活衣料事業

売上高 3,544百万円 営業利益 321百万円

売上高構成比  
16.8%



繊維素材は、物流費やエネルギーコストの高騰に加えて円安が影響し、厳しい環境が続きました。繊維製品は、量販店の店舗減少に加え消費者の節約志向の高まりが影響し苦戦しました。ネット販売では、継続的なSNS、検索広告などのWebマーケティングの強化に加え、ネット専用製品を拡充し、効果的な商品訴求を図りました。一方、高品質な日本製品が評価され、海外向け販売は好調に推移しました。利益面については、円安の進行による原材料や資材などの価格高騰が続いており、粗利率が低下しました。



この結果、売上高は前年同期比94百万円増収の3,544百万円となり、営業利益は62百万円減益の321百万円となりました。

## その他の事業

売上高 1,485百万円 営業損失 50百万円

売上高構成比  
7.1%



化成品部門は、医療向けおよび既存先について深耕営業に努めましたが、設備投資の償却費負担があり、前年同期比では増収・減益となりました。金型部門は、自動車メーカーの品質不正問題等により、依然として厳しい状況にあります。加えて、事務機器用金型が開発案件の端境期であることや、車載コネクタやスマホ向けホットランナーの引き合いも低調であることから厳しい状況が続いております。貿易部門は、採算重視の取引への改善を進めています。



この結果、売上高は前年同期比55百万円減収の1,485百万円となり、営業利益は86百万円減益の50百万円の損失となりました。

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 2024年9月30日 現 在	前 期 2024年3月31日 現 在	科 目	当中間期 2024年9月30日 現 在	前 期 2024年3月31日 現 在
<b>資産の部</b>	<b>66,158</b>	<b>62,512</b>	<b>負債の部</b>	<b>20,523</b>	<b>18,539</b>
<b>流動資産</b>	<b>25,895</b>	<b>23,689</b>	<b>流動負債</b>	<b>13,868</b>	<b>11,756</b>
現金及び預金	9,572	8,262	支払手形及び買掛金	4,777	4,156
受取手形及び売掛金	9,285	8,554	電子記録債務	1,187	1,095
電子記録債権	652	605	短期借入金	1,231	1,223
商品及び製品	1,048	1,071	未払法人税等	1,085	497
仕掛品	2,543	2,702	賞与引当金	808	734
原材料及び貯蔵品	1,709	1,664	その他	4,777	4,048
その他	1,089	837	<b>固定負債</b>	<b>6,654</b>	<b>6,782</b>
貸倒引当金	△7	△7	長期借入金	180	210
<b>固定資産</b>	<b>40,263</b>	<b>38,822</b>	退職給付に係る負債	4,110	4,170
<b>有形固定資産</b>	<b>35,616</b>	<b>33,962</b>	資産除去債務	524	500
建物及び構築物	12,096	10,806	その他	1,839	1,900
機械装置及び運搬具	6,951	6,563	<b>純資産の部</b>	<b>45,635</b>	<b>43,973</b>
土地	13,888	13,858	<b>株主資本</b>	<b>42,066</b>	<b>40,569</b>
その他	2,680	2,732	資本金	6,673	6,673
<b>無形固定資産</b>	<b>1,127</b>	<b>1,217</b>	資本剰余金	2,225	2,213
のれん	932	1,002	利益剰余金	34,156	32,684
その他	194	214	自己株式	△989	△1,002
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,519</b>	<b>3,643</b>	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3,568</b>	<b>3,403</b>
<b>資産合計</b>	<b>66,158</b>	<b>62,512</b>	その他有価証券評価差額金	1,159	1,204
			繰延ヘッジ損益	3	△4
			土地再評価差額金	1,527	1,527
			為替換算調整勘定	942	742
			退職給付に係る調整累計額	△63	△67
			<b>非支配株主持分</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>66,158</b>	<b>62,512</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2024年4月1日～ 2024年9月30日	2023年4月1日～ 2023年9月30日
売上高	21,060	17,098
売上原価	13,872	12,326
売上総利益	7,187	4,772
販売費及び一般管理費	4,194	3,854
営業利益	2,992	917
営業外収益	229	461
受取利息	1	0
受取配当金	37	37
固定資産賃貸料	148	156
補助金収入	—	200
その他	41	66
営業外費用	150	117
支払利息	13	12
固定資産賃貸費用	32	42
為替差損	57	21
その他	46	41
経常利益	3,071	1,262
特別利益	17	138
固定資産売却益	0	9
投資有価証券売却益	16	128
特別損失	38	36
固定資産処分損	38	29
減損損失	0	6
その他	—	0
税金等調整前中間純利益	3,050	1,364
法人税、住民税及び事業税	974	445
法人税等調整額	△19	21
中間純利益	2,095	897
非支配株主に帰属する 中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,095	896

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2024年4月1日～ 2024年9月30日	2023年4月1日～ 2023年9月30日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	4,231	2,091
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△2,184	△2,289
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△756	△588
現金及び現金同等物に 係る換算差額	17	44
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	1,309	△742
現金及び現金同等物の 期首残高	8,245	8,090
現金及び現金同等物の 中間期末残高	9,555	7,348

## 研究開発のスピードアップに向けて —技術開発棟を新設—

AIやIoTの活用による業務プロセスの改善に加え、ビジネスモデルそのものをデジタルの力で変革するDX(デジタルトランスフォーメーション)の進展により、半導体の高性能化が進んでいます。これに伴って、半導体関連用途の研磨材のユーザーが求める研磨性能も日々



高度化しています。

フジボウ愛媛(株)では、こうしたお客様のニーズに応えるため、マザー



工場にあたる壬生川工場に技術開発棟を新設しました。技術開発棟に、研究開発人員および研磨の実験機器、分析機器などの設備を集約することで、開発業務の効率化と研究開発のスピードアップを図ります。

また、技術開発棟の屋上には、再生可能エネルギーの活用を図るため太陽光パネルを設置しており、技術開発棟で使用する電力の過半を自家発電で賄う計画です。

## 「B.V.D.ベースガーマンツ」 ヘイルメリーマガジンとコラボ

B.V.D.に、遊び心を忘れない大人世代のための新たなデイリーウエアシリーズが登場しました。その名も「B.V.D. BASEGARMENTS (ベースガーマンツ)」。アメリカを探求する情報誌『ヘイルメリーマガジン』とのコラボ商品です。

第一弾は、アウターTシャツ「SPORTOPS(スポーツップス)」。1960年代のアメリカでヒットしたポケット付きTシャツの名を受け継いでいます。

B.V.D.の定番品「GOLD」に使われている糸を使用



し、厚くもなく薄くもない生地に仕上げ、抜群の肌ざわりと着心地を実現。何度洗ってもへたらないタフネックにするため、首周りの仕上げには補強生地をかぶせた仕様を採用しました。小ぶりの胸ポケットを付けるとともに、体型をカッコよく見せるシルエットにもこだわりました。B.V.D.直販オンラインストアで販売中です。

## 「ふくのわプロジェクト」の応援に 三ヶ島かな選手が来社

当社がスポンサー契約をしている女子プロゴルファーの三ヶ島かな選手が、「ふくのわプロジェクト」の回収イベントに、衣類持参で駆けつけてくれました。「ふくのわプロジェクト」は、まだ使える衣類を回収・リユース(再利用)し、その収益金の一部をパラスポーツ(障がい者スポーツ)の競技団体に寄付す



る活動です。当社はSDGsへの貢献を目的に、産経新聞社が主催するこのプロジェクトにオフィシャルパートナーとして参加しており、今年で9年目を迎えます。



三ヶ島選手は「ゴルフを通じて、自然の厳しさや地球温暖化を実感します。SDGsへの関心を高めるためにも、このような素敵な取り組みでスポーツをご支援いただけることをうれしく思います」と語りました。

フジボウグループは、引き続き「ふくのわプロジェクト」に参加し、環境問題や社会課題の解決に取り組んでまいります。

## 『統合報告書2024』を発行しました ～当社の強みや成長戦略を紹介～

当社は、2024年9月30日に従来のサステナビリティレポートと事業・業績の状況をついにまとめた統合報告書を発行いたしました。本統合報告書は、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様へ、当社の中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えすることを目的として、当社の強みや成長戦略、サステナビリティ経営の取り組みなどをご紹介します。

当社Webサイト上で公開していますので、ぜひご覧ください。

以下のURLまたは二次元バーコードよりご覧いただけます。  
[https://www.fujibo.co.jp/ir/integrated\\_report/](https://www.fujibo.co.jp/ir/integrated_report/)



## 会社概要

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体118名 連結1,318名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

## 連結対象会社

### ■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)  
台湾富士紡精密材料股份有限公司  
フジケミ(株)

### ■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

### ■ その他の事業

フジケミ(株)  
(株)東京金型  
(株)IPM

### ■ 生活衣料事業

(株)フジボウアパレル  
ジンタナフジボウコーポレーション  
フジボウテキスタイル(株)  
タイフジボウテキスタイル(株)  
富士紡(上海)商貿有限公司

## 役員

代表取締役社長	井上 雅 偉
専務取締役	豊岡 保 雄
代表取締役常務執行役員	平野 治
取締役上席執行役員	望月 吉見
取締役上席執行役員	佐々木 辰也
取締役	ルース・マリ・ジャーマン
取締役	小林 久志
取締役	佐藤 梨江子
取締役	壺田 貴弘
常勤監査役	野口 篤謙
常勤監査役	岡本 勝彦
監査役	大塚 幸太郎
監査役	藤居 勝也

(注) 1. 取締役のルース・マリ・ジャーマン、小林久志、佐藤梨江子、壺田貴弘の4氏は社外取締役であります。  
2. 監査役の岡本勝彦、大塚幸太郎、藤居勝也の3氏は社外監査役であります。

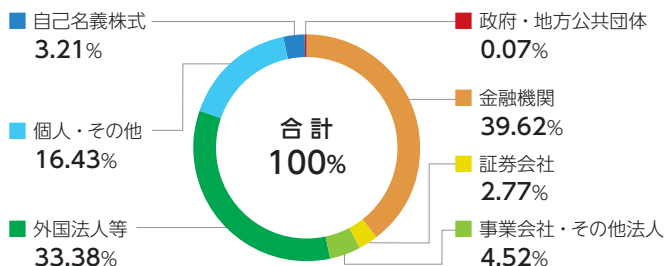
## 執行役員

常務執行役員	鈴木 眞
常務執行役員	安藤 興司
常務執行役員	清水 康弘
上席執行役員	岡田 祐明
執行役員	中村 隆夫
執行役員	戸坂 浩二
執行役員	広田 幸史
執行役員	鈴木 基文
執行役員	武田 秀則

## 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,714名

## 所有者別分布状況



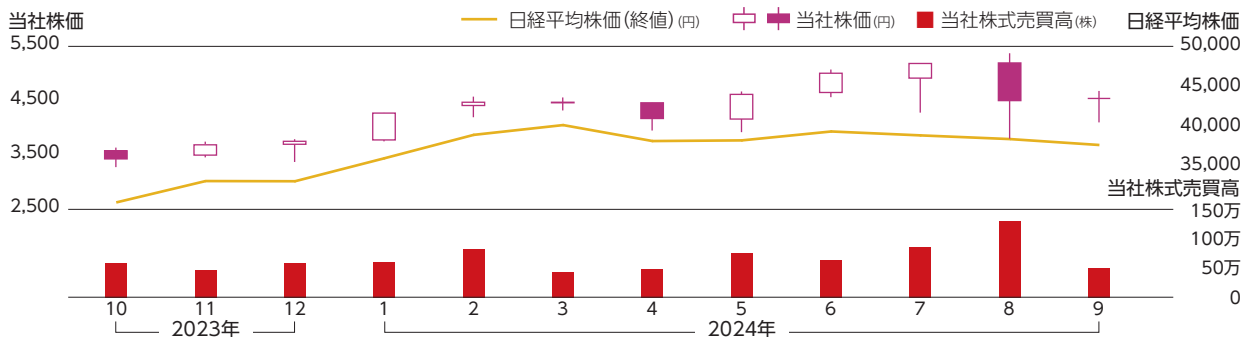
## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,520,500	13.40
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,008,900	8.89
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	661,850	5.83
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.70
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.41
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	475,131	4.19
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.84
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS – PACIFIC POOL	319,600	2.82
フジボウ共栄会	298,200	2.63
福岡 務	206,200	1.82

(注) 1. 当社は自己株式を376,368株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.fujibo.co.jp/">https://www.fujibo.co.jp/</a> (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12  
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

